北海道大学

# 附属図書館年報 2026

Hokkaido University Library
Annual Report

# Contents

館長巻頭言 …… 1
令和７年度 Topics
1. 教育学習支援 …… 2
2. 研究支援 …… 8
3. 社会貢献と国際化 …… 11
4. その他 …… 15
連携事業 …… 19
ガイダンス・講習会 …… 20
活動日誌 …… 22
学外講師派遣等 …… 25
統計 …… 26
図書館委員会名簿 …… 30
組織図 …… 31

## 北海道大学附属図書館のミッション

附属図書館は、北海道大学の４つの基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」に基づき、人類の知的資産である学術情報の集積・提供・発信を行い、未来に向けて、知の交流・創成の場として機能する。その実現のために、以下の目標を掲げる。

### 教育学習支援

豊かな情報資源と快適かつ刺激的な学習空間を提供し、自ら学び、課題解決に取り組むことのできる学生の育成を支援する。

### 研究支援

世界水準の研究を推進するため、本学の研究者が必要とする情報資源を持続的に利用できる環境を整備する。また、本学の研究成果の保存と発信に責任を負う。

### 社会貢献と国際化

北海道地区における唯一の総合大学の図書館として、他図書館に対する支援を行い、地域住民の生涯学習を支援する。また、海外の大学図書館と協力関係を構築し、交流を推進する。

### 組織運営

学生、教職員及び研究者と連携・協働し、大学における教育研究支援機能を強化する組織づくりを目指す。図書館職員は図書館や学術情報流通に関する専門性に加え、大学を取り巻く社会の環境変化に対応できる専門性を磨く。

# 館長巻頭言

## 附属図書館年報 2026 年版の刊行に当たって



附属図書館長
**山本　文彦**

「附属図書館年報」は、附属図書館全体の概要紹介と活動の詳細な記録を報告するために、2014 年に刊行を開始し、本号で第 13 号となります。本年報は前年の活動の記録を報告するものであり、本号では 2025 年度における取組みを紹介しています。

北海道大学は本年 2026 年に創基 150 年を迎えます。1876 年(明治 9 年)8 月 14 日の札幌農学校開校と同時に、講堂内一階に「書籍室」が設けられましたが、同年 12 月にはクラーク博士の意向により、独立した「書籍庫」が新築されました。これを附属図書館の始まりとし、本館もまた今年で、150 年の節目を迎えます。その後、1890 年の増築により閲覧室と事務室が整備され、翌 1891 年には新渡戸稲造が初代館長に就任しました。蔵書は開設当初の 6149 冊から、現在では本館・北図書館に加え部局図書室を含め約 380 万冊に達し、本学の教育研究を支える基盤として発展してきました。

この 150 年の間に、図書館の役割は大きく変化してきました。近年では特に、電子書籍や電子ジャーナルの普及、さらには生成 AI の進展により、情報へのアクセスは飛躍的に容易となり、資料を求めて図書館に足を運ぶ必要は大幅に減少しました。西洋史を専門とする私自身も、大部な専門辞書や大きな地図などを広げて閲覧室で調査を行い、館内で文献複写を重ねた日々を懐かしく思い起こします。しかしながら、そのような変化は図書館の必要性の低下を意味するものではなく、むしろその役割の質的転換を促していると言えます。

では、これからの大学附属図書館は何を担うべきでしょうか。この問いは本学固有のものではなく、広く大学図書館全体に共有されている課題です。歴史を振り返れば、図書館は常に大学とともにあり、教育と研究を支える不可欠の存在でした。その関係は今後も変わることはなく、むしろ情報環境が大きく変容する現代において、その重要性は一層高まっています。

今日において重要なのは、情報への単なるアクセスの提供にとどまらず、その適切な活用を支えることだと考えます。情報が氾濫し、その真偽の判別が難しくなる中で、図書館に信頼性の高い情報環境を整備するとともに、それを批判的に読み解き、活用する力を育む役割が求められています。また、従来の静謐な閲覧空間という機能に加え、異なる専門分野の学生や研究者が交流し、新たな知の創出へとつながる「協働の場」としての機能も重要性を増しています。本学には多様な学部が集う総合大学としての強みがあります。図書館は、その専門性の壁を越え、偶発的な知の出会いを生み出す「触媒」でなければなりません。ラーニングコモンズに代表される取組みは、その具体的な表れであり、これからの大学教育において不可欠な要素となっています。

さらに研究支援の面では、オープンサイエンスの進展や研究データ管理の必要性の高まりに対応し、本学が進める DX 推進と歩調を合わせ、研究成果を社会に開かれた共有財産として適正に管理・発信していくための「ハブ」としての役割を強化してまいります。学術情報流通の変革の中で、図書館は単なる受動的な存在ではなく、積極的に知の循環を支える主体として位置付けられるべきだと考えます。

このように、図書館の形態や機能は大きく変化しつつありますが、教育と研究を支えるという本質的使命は 150 年前と変わるものではありません。北海道大学附属図書館もまた、この長い歴史を礎としつつ、新たな時代にふさわしい知の拠点として進化を続けてまいります。

本年報を通じて、附属図書館の活動についてご理解を深めていただくとともに、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 令和７年度 Topics

## 1 教育学習支援

### A 学習支援

### （1）スタディ・スキルセミナー



ポスター

本学学生の進路・修学相談や主体的な学習への支援を行うラーニングサポート室と協働し、学部学生 1、2 年次を主な対象として、大学での学習の基本となる「スタディ・スキル」を身に付けるためのオンデマンド型のセミナーを通年で実施した。

セミナー教材のうち図書館では、全学教育科目内で実施している初年次学生向けの「図書館情報入門」の内容をベースにした「文献の探し方」の教材を作成した。秋には、教材の提供形態をスライド及び動画から目次を整備した Web ページへと変更した。これにより、学生が必要とする内容にスムーズにアクセスできるようになった。

通年でスライド教材 102 回、動画教材 41 回、Web ページ 43 回の利用があった。

### （2）めざせ 100 万語！英語多読マラソン



案内チラシ

**1）参加状況**

今年度の英語多読マラソン新規参加者は 144 名、累計参加者は 3,546 名となった。

また、達成証を進呈する節目の語数を新たに達成した参加者は、10 万語が 10 名、100 万語が 2 名だった。

**2）全学教育科目英語授業でのエクリーの活用**

メディア・コミュニケーション研究院原田真見准教授の協力により、今年度も引続き英語多読マラソンシステム「エクリー」が、全学教育科目の英語授業で活用された。

### （3）「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示



展示の様子

3 月 27 日（木）～ 6 月 18 日（水）、北図書館で新入生向けに「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示を行った。

北海道大学生活協同組合（以下、「北大生協」）書籍部と連携して実施したもので、同じタイトルの本が北大生

協では購入でき、北図書館では借りることができるよう、同時期に開催した。アカデミックスキル（レポート・論文の書き方、プレゼンのしかた等）、ライフスキル＆コミュニケーション、新生活応援、北海道関連の４つのテーマを設けて、本学学生としての新たなスタートを応援するという企画で、併せて北大生協及び北図書館について紹介する広報ポスターやチラシ等も展示した。

期間中、展示した 201 冊中 191 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 770 回となった。


展示の様子（北図書館）

## （4）学部解説関連図書展示


展示の様子

９月 22 日（月）～ 11 月７日（金）、初年次学生が移行先の学部を決定する際に参考となるよう北図書館で「1年生の学部移行を応援！学部解説関連図書展示」を行った。これはラーニングサポート室と連携して実施したもので、協同して展示用図書の選定を行った他、ラーニングサポート室が作成した資料の配布やアカデミックマップの掲示を行った。

期間中、展示した 37 冊中 16 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 23 回となった。

## （5）大学院特別教育プログラム OGGs（オッグズ）展示



展示の様子（本館）

４月～３月の１年間、本館及び北図書館で「大学院特別教育プログラム OGGs（オッグズ）」展示を学務部国際交流課と共催した。

OGGs は、持続可能な社会の実現に向けて「何をすべきか」「何ができるか」を考えることを目的とした、分野横断型の国際共修プログラムである。本展示は、プログラムへの参加者をより広く全学的に募るための広報活動の一環として、継続的に実施している。展示内容としては、プログラムの紹介ポスターや推薦図書の掲示に加え、デジタルサイネージを活用した紹介映像の投影を行っている。

本館、北図書館ともに１年を通して配布資料が手に取られている様子が多く見られ、学内におけるプログラムの周知やその有用性についての理解促進につなげることができた。

## （6）自分の世界を広げる図書展示



展示の様子

6 月 19 日（木）～ 9 月 11 日（木）に北図書館で、「自分の世界を広げる図書展示」を行った。目まぐるしく変化する最近の世界情勢や、各国・地域が抱える社会問題について、学生が自分なりに考えるきっかけとなるような図書の展示を行い、自らの世界を広げる機会を提供するとともに、図書館資料の活用を実現した。具体的には「社会問題を考える（世界情勢等の社会的な課題に関する図書）」、「言語に親しむ（試験対策ではない語学書）」、「自分の世界を広げる（旅や留学、教養に資する図書）」という 3 つのテーマを設定し、展示した。

期間中、展示した 221 冊中 170 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 347 回となった。また、電子書籍には 24 冊中 9 冊にアクセスがあり、利用回数は延べ 123 回となった。

## （7）「物理・数学・統計学・化学」入門図書展示



展示の様子

7 月 1 日（火）～ 9 月 1 日（月）、北図書館でラーニングサポート室と連携し「物理・数学・統計学・化学」入門図書展示を行った。総合教育部 1 年生が学習に役立つ図書に触れる機会を設けるため、ラーニングサポート室へ展示図書の選定と推薦コメントを依頼した。

期間中、展示図書 26 冊中 16 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 30 回となった。また、電子書籍には 9 冊中 7 冊にアクセスがあり、利用回数は延べ 38 回となった。

## （8）図書展示「読書と芸術の秋」



展示の様子

9 月 12 日（金）～ 11 月 27 日（木）に北図書館で、図書展示「読書と芸術の秋」を行った。「読書の秋」「芸術の秋」にちなみ、文学や美術、映画や音楽等広く芸術に関するテーマの図書・視聴覚資料を展示し、学生に芸術に関する教養を深める機会を提供するとともに、図書館資料の活用を実現した。

期間中、展示した図書 153 冊中 122 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 347 回となった。また、電子書籍には 10 冊中 6 冊にアクセスがあり、利用回数は延べ 80 回となった。視聴覚資料については、館内限定利用ではあったが、展示点数 41 点中 11 点の利用があり、総利用回数は 16 回であった。

## （9）フィンランド関連図書展示



展示の様子（本館）



展示の様子（北図書館）

ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（DEI 推進本部）との協働展示で、北図書館では 11 月 28 日（金）～ 2 月 3 日（火）、本館では 12 月 1 日（月）～ 1 月 16 日（金）の期間に「フィンランド関連図書展示」を実施した。

本展示は、DEI 推進本部が主催したフィンランド・オウル大学との国際シンポジウムに関連した図書展示となっており、本館では 41 冊の図書を、北図書館では 147 冊の図書と 14 点の視聴覚資料を展示した。展示図書は、フィンランドにまつわる言語、文化、歴史、建築、音楽、文学等多彩なジャンルからなり、本館・北図書館の両館で多くの貸出、また館内での利用があった。

期間中、オウル大学から招かれた講師らによる図書館訪問もあり、本を通してフィンランドとつながるような展示となった。

### （10）進路選択応援！就活・進学関連図書展示



展示の様子

2 月 4 日（水）～ 3 月 26 日（木）に、北図書館で就職活動や大学院への進学に関連する「進路選択応援！就活・進学関連図書展示」を行った。これは就職活動開始時期に合わせて実施し、様々な進路に関する図書を展示、電子書籍を紹介することで、学生により多様な選択肢に触れる機会を設けるとともに、図書館資料の活用促進を目的としている。

期間中、展示した 128 冊中 70 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 136 回となった。また、電子書籍には 31 冊中 22 冊にアクセスがあり、利用回数は延べ 405 回となった。

## B　情報リテラシー教育

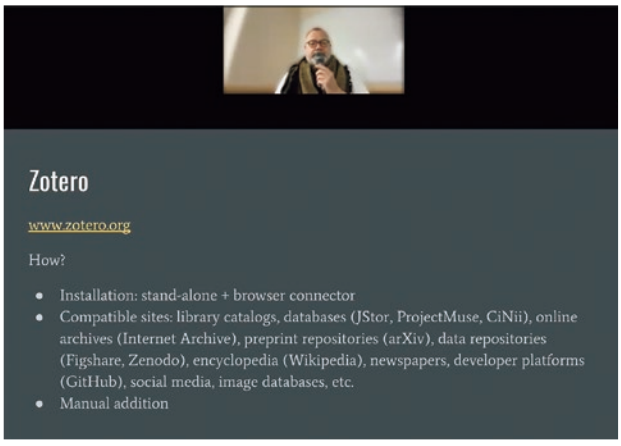
### （1）図書館情報入門

「図書館情報入門」は、初年次学生を対象にレポートや論文作成に必要な学術文献の効率的な入手方法の習得を目的に実施している。全学教育科目の「一般教育演習（フレッシュマンセミナー）」及び「主題別科目（論文指導）」において、教員からの依頼により、授業の 1 コマ（90 分）を使い対面形式で実施した。

実施後のアンケートでは、「満足」と答えた初回受講者が 81.6％であり、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせると 99％以上となった。

また、内容の一部は図書館が作成に関わった、初年次学生のための導入科目「北大での学び」の「第 3 回　正しく安全に学ぶために」の「情報リテラシー」部分の教材にも含まれている。

### （2）文献収集・管理ツール講習会



Zotero 編の様子

6 月に、「自分に合ったツールが見つかる！文献収集・管理ツール講習会」を開催した。利用目的が同じツールの講習会をシリーズで開催することにより機能等を比較しやすくし、利用者が必要に応じて適切に選択できることを目指し企画した。

シリーズの構成は後述の通り、ツールごとに 3 回に分けて実施した。各回のアーカイブ動画を附属図書館 Web サイトで学内構成員限定で公開している。

シリーズ全体で 46 名（Zotero 編のオンデマンド受講者を除く）の学生・教職員が参加し、講習会後のアンケートでは、「分かりやすく、知りたかった機能をおしえていただけた」や「新しいアプリケーションの使い方が分かったため、今後使っていきたいと思った」等の回答が寄せられ有意義な講習会となった。

**【シリーズ構成】**

・第 1 回　Mendeley 編（形式：オンライン、外部講師）
・第 2 回　EndNote 編（形式：オンライン、外部講師）
・第 3 回　Zotero 編（形式：対面及びオンデマンド、講師：高等教育推進機構ミヒャエル・シルツ准教授、対面会場：北図書館西棟 2 階セミナールーム）

## （3）基礎からはじめる「法情報の探し方」セミナー

法学研究科法学政治学資料センターと連携し、図書館と同センターで所蔵している法学関連の図書や雑誌の網羅的な探し方や法情報収集の基礎を身に付けることを目的として、対面形式で開催した。法学政治学資料センターでの説明の後、本館リテラシールームでの講習会及び法学系に特化した書庫ガイダンスで内容を構成し、春と秋を合わせて 5 回実施し、計 65 名が参加した。

## （4）国際機関情報の探し方セミナー

国連寄託図書館・EU 情報センターとして国際情報の入手方法についてわかりやすく解説し、グローバルな課題に対する情報収集スキルを高めることを目的として 11 月 11 日（火）に開催した。今回は特に、本学の教員による基調講演を冒頭に行い、「国連編」「EU 編」ともにオンライン（学内限定）と対面（会場：本館リテラシールーム）によるハイブリッド形式で実施した。各編とも 9 名ずつ、計 18 名が参加した。

## （5）各種データベース講習会

研究や学習、就職活動等に幅広く役立ててもらうことを目的として、学術文献データベースや文献管理ソフトの利用講習会を専門の外部インストラクターとの協働により開催した。「Web of Science」「日経テレコン」「JapanKnowledge Lib」「Mendeley」「Zotero」の他、「CAS SciFinder-n」といった分野に特化したデータベース等も含め、本館、北図書館や部局での対面形式、オンライン形式を合わせて計 17 回開催した。

## （6）オーダーメイド講習会

教員からの依頼による「オーダーメイド講習会」は、個別の授業やゼミへの支援を目的とするオリジナル型の講習会で、教員と図書館職員とで内容を相談しながら実施している。部局図書室の独自の分野に特化した内容の講習会も増えており、授業に合わせた演習や文献管理ツールの活用等、単なる文献の収集方法に留まらない多様な形態で、対面形式を中心に計 34 回実施した。

## （7）デジタルリテラシー講習会



Day2 の様子




展示の様子

12 月に、大学院教育推進機構オープンエデュケーショ

ンセンターと「コンテンツ制作を通して学ぶ、伝えるためのデジタルリテラシー入門」を共催した。参加者が選んだ本の表紙を Adobe Express で「リ・デザイン」（再構成）する全 3 回の実習を通して、他者に意図やメッセージを効果的に伝えるためのデジタルリテラシー及びコンテンツ制作技術の習得を目指し企画した。

各回の概要は後述の通り、題材の観察における着目点や思考のアウトプットに必要なデザイン言語、制作を行う際に気を配るべき著作権等の説明の後、各自で作成した作品を参加者が互いに観察しフィードバックを行うアクティビティも行われた。

講習会後のアンケートでは、「“現状をより好ましく変えるべく試行錯誤し最善を見出そうとしていることがすでにデザインである”と認識できたことで自分の日常の中にデザインを意識する視点が生まれたと思う」や「他の参加者の作品に触れることもでき良い刺激を受けた」、「課題を通して Adobe Express にたくさん触れたことで使い方がかなり分かった」等の意見も見られ、有意義な講習会となった。

なお、講習会で作成した作品の一部は北図書館で 3 月中旬～ 4 月下旬まで展示した。

**【各回概要】**

Day1）「視点を得る」好きな本の表紙を観察する
Day2）「体験をつくる」Adobe Express で本の表紙を制作する
Day3）「実感をもとに問をたてる」制作物を共有し、ブラッシュアップする

## C 障がいのある学生への支援

図書館では、障がいのある利用者に安心して利用してもらえるよう設備や貸出物品を整えている。

施設・設備面での支援の他、印刷された図書や論文を読むことが困難な学生のために図書館の資料を電子化する「プリント・ディスアビリティのある利用者のための資料電子化サービス」を本学学生相談総合センターアクセシビリティ支援室と協働して行っている。

登録利用者である学生からの依頼を受け、電子化業務のピアサポーター（支援学生）28 名が主体となり、10 件の資料を電子化し提供した。

また、全学教育科目「健康と社会」（講義題目：キャンパス・アクセシビリティ入門）において、電子化における法的な知識に関する講義と実習を 3 名の職員が担当した。同時に「カラーユニバーサルデザイン」についても講義を行った。

その他、電子化が完了したデータのうち 50 件を「みなサーチ（国立国会図書館障害者用資料検索）」へ提供し、加えて国立情報学研究所読書バリアフリー資料メタデータ共有システムへ登録する等、電子化データの学外への共有も進めている。

## D Digital Creative Grids オープン



Digital Creative Grids　入口

5 月 8 日（木）に、北図書館 2 階メディアルーム内に Digital Creative Grids（略称グリッズ）がオープンした。

グリッズは、大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンターとアドビ株式会社との共同研究の中で構想されたもので、学生や教職員向けにアドビのクリエイティブツールを活用するワークショップ等を企画・実施し、デジタルリテラシーの涵養を図るものである。

開室時間中はスタッフが常駐し、デジタルツールの使い方やデザインに関する利用者からの質問・相談に対応している。ELMS 端末を備えたワークスペースの他、持ち込みのノートパソコンで作業できるフリースペースもある。

12 月にはオープンエデュケーションセンターと「コンテンツ制作を通して学ぶ、伝えるためのデジタルリテラシー入門」を共催し、図書館は広報や場所の提供で協力した（6 ページ参照）。

グリッズ URL：
https://www.open-ed.hokudai.ac.jp/dcg.html

# 2 研究支援

## A 研究者向け講習会

### （1）学内他部署と共同で実施したセミナー

先端人材育成センター・I-HoP 及び統合 URA 本部主催のセミナーに協力した。

#### 1）SciVal 講習会「自分の研究をどう見せる？どう研究に活かす？」

研究活動の可視化ツール「SciVal」を使い、研究の強みや成長分野を把握することで自身の研究の位置づけを客観的に知り、研究計画や申請資料づくりに活かすことを目指すセミナー。11 月 21 日（金）、オンラインで実施し、39 名が参加した他、後日学内限定で動画配信を行った。

#### 2）Preparing Your Research Article for Submission（英語論文執筆セミナー）

主に国際誌に論文を投稿する若手研究者を対象に、論文の執筆に係るポイント等を解説するセミナー。12 月 10 日（水）、オンラインで実施し、他大学の学生等を含め、44 名が参加した他、後日学内限定で動画配信を行った。図書館は広報活動に協力するとともに、「英語論文執筆に役立つ図書リスト」の作成と配布を行った。

## B 研究者向けサービス

### （1）文献検索相談・代行サービス

医系グループ（医学研究院・保健科学研究院・歯学研究院の各図書室担当）では、本学の医系研究者を対象に、研究テーマに応じた先行研究調査を代行する「文献検索相談・代行サービス」を実施した。

本サービスは、検索テーマやキーワード等を研究者と相談の上、図書館職員が国内外のデータベースから文献調査を行う他、データベースの利用方法、文献管理や入手方法に関するアドバイスを提供するものである。平成 28 年 7 月のサービス開始以来、特に診療ガイドライン（GL）やシステマティックレビュー（SR）のための網羅的な文献調査を必要とする研究者を支援してきた。令和 3 年度にはそれまでの取組みが評価され、国立大学図書館協会賞を受賞している。

今年度は計 21 件の申込みがあった。申込者の所属部局の内訳は、医学研究院 4 件、保健科学研究院 13 件、病院 2 件、環境健康科学研究教育センター 2 件だった。申込目的の内訳は、SR 等作成が 8 件、修士・博士論文執筆が 3 件、看護研究が 8 件、その他の先行研究調査に関する文献検索が 2 件だった。

直近の成果としては、文献検索を代行したレビュー論文[1)-4)]が出版された。

1）Ohinata, H.; Yun, S.; Miyajima, N.; Yuki, M. Association between Dynapenia and Multimorbidity in Community-Dwelling Older Adults: A Systematic Review. Ann Geriatr Med Res 2024, 28(3), 238-246. DOI: 10.4235/agmr.24.0007

2）Osuka, Y.; Ohta, T.; Li, J.; Furuya, K.; Kinoshita, K.; Otsuka, R.; Kawamura, M.; Watanabe, Y.; Matsudaira, K.; Oka, H.; et al. Intervention Response of Muscle Architecture and Composition Markers Assessed via Ultrasound Imaging: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Clinical Trials. J Am Med Dir Assoc 2025, 26(5), 105526. DOI: 10.1016/j.jamda.2025.105526

3）Ohinata, H.; Akiyama, N.; Kawashima, A.; Nozu, H.; Tamura, H.; Matoba, K.; Toda, M.; Togashi, S. Palliative Care Needs of Patients With Chronic Limb-Threatening Ischemia: A Scoping Review. J Pain Symptom Manage 2025, 70(6), e455-e473. DOI: 10.1016/j.jpainsymman.2025.08.018

4）Mukai, Y.; Yamaguchi, A.; Suganuma, Y.; Okamoto, K.; Matsumoto, N.; Narumi, K.; Kobayashi, M. Association between the Expression of Monocarboxylate Transporters in Tumors and Surrounding Stromal Cells and Cancer Prognosis: A Meta-Analysis. Biol Pharm Bull 2025, 48(12), 1960-1971. DOI: 10.1248/bpb.b25-00343

## C 学術研究コンテンツの整備

### （1）令和８・９年度学術研究コンテンツの整備

本学では、平成 29（2017）年度分選定より特定経費（全学で使用する電子ジャーナル及び学術文献データベース（以下、「学術研究コンテンツ」）の整備のために配分されている経費）の上限が設定された。その一方で、毎年の原価値上がりや為替相場の影響により、学術研究コンテンツの整備にかかる経費が増大する状況が続いている。

この状況に対応するため、令和３年度には、学術研究コンテンツについて、安定的な整備のための基本的な考え方や財源の在り方、さらには新たな研究支援の可能性等、全学的な観点から本学に必要な方策を提言することを目的とした、「電子ジャーナル等整備検討委員会」が新たに設置された。

この委員会でとりまとめられた提言に基づき、令和８年度に特定経費で購読する学術研究コンテンツを選定した。

データベースは、部局に継続希望調査を行った結果、令和７年度に購読中のデータベースすべてに対して部局から継続希望があったため、全件を継続することとなった。

電子ジャーナルは、令和７年度の購読タイトルを上限とし、予算が不足する場合はパッケージを解体する方針となった。しかし、学内から寄せられた意見を考慮し再度検討した結果、パッケージ解体は行わず、令和７年度購読タイトルをすべて継続することとなった。

これに伴い、本学の学術研究コンテンツに関する研究教育環境を悪化させないために、電子ジャーナルの高騰に対する方策を検討することを目的として「電子ジャーナル等整備のための検討 WG」が設置され、今後の経費について検討が行われた。WG は令和７年度末で終了したが、体制を変え、令和８年度も引続き検討する予定である。

令和９年度に特定経費で購読する学術研究コンテンツは、経費等について検討中のところではあるが、前述の提言に基づき、電子ジャーナルは令和８年度の購読タイトルを維持すること、データベースは部局への継続希望調査に基づいて全件を継続することとなった。

## D 学術成果刊行助成

本学では、学術的価値が高くかつ独創的な著作物の刊行を促進し、学術研究成果の社会への還元及び学術の国際交流の推進に資することを目的として、平成 20 年５月に「学術成果刊行助成」を創設した。助成の対象は図書及び文系欧文誌の刊行である。

図書については、予算の都合により次年度分の募集はできなかったが、昨年度採択された以下の図書１件を発行した。

・樺太からの引揚者と戦後北海道／木村由美

欧文誌については、文系８部局を対象に募集を行い、以下の３誌を採択した。

・Acta Slavica Iaponica（スラブ・ユーラシア研究センター）
・Journal of Applied Ethics and Philosophy（文学研究院）
・Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences（文学研究院）

本事業により、これまでに図書 24 冊、欧文誌５誌を刊行した。刊行した図書は本館の教員著作物コーナーで利用可能である。また欧文誌は機関リポジトリ HUSCAP 等で電子版が利用可能である。

## E 北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）

### （1）新機関リポジトリシステムの運用開始

本学は文部科学省の「オープンアクセス加速化事業」に採択され、その事業の一環として、次期 HUSCAP に向けた新たな機関リポジトリシステムを昨年度に導入し、12 月から新 HUSCAP の運用を開始した。画面レイアウトを刷新するとともに、論文の根拠データを公開するためのストレージを拡充し、研究成果と関連データを一体的に公開できる環境を整備した。

## （2）HUSCAP20 周年

7 月に HUSCAP は試験運用開始から 20 周年を迎えた。本学における研究成果の公開・発信基盤として、学術論文や研究成果を継続的に蓄積・提供してきた。20 周年の節目にあたっては、HUSCAP の取組みを広く周知するため、SNS を通じた情報発信を行った。

### HUSCAP20 年の主な出来事

| | |
|---|---|
| 平成 16 年 5 月 | 機関リポジトリ導入検討開始 |
| 平成 17 年 7 月 | 試験運用開始・学外公開 |
| 平成 18 年 4 月 | 正式運用開始 |
| 平成 18 年 11 月 | 収録文献数 10,000 編到達 |
| 平成 22 年 10 月 | 5 周年記念 HUSCAP 講演会開催 |
| 平成 25 年 12 月 | 「博士論文のインターネット公表」<br>相談ホットライン開設 |
| 平成 27 年 7 月 | 10 周年パネル展示開催、グッズ作成 |
| 平成 28 年 7 月 | 収録文献数 50,000 編到達<br>学位論文への DOI 付与開始 |
| 令和元年 6 月 | 北海道大学オープンアクセス方針制定 |
| 令和 3 年 4 月 | 研究データ登録に対応した規程の整備 |
| 令和 4 年 6 月 | 北海道大学研究データポリシー制定 |
| 令和 7 年 2 月 | 収録文献数 80,000 編到達 |
| 令和 7 年 3 月 | 新機関リポジトリシステム導入<br>（NEC E-Cats Library） |
| 令和 7 年 7 月 | 運用開始 20 周年 |

# 3 社会貢献と国際化

## A 北方資料公開

### （1）北方資料掲載申請

全国からテレビ放送や図書等への写真使用等の許可申請があり、その件数は 131 件、資料点数としては 316 点であった。内訳は次の通り。

・放映許可件数：14 件　　資料数：22 点
・掲載許可件数：117 件　　資料数：294 点

### （2）高精細画像の新規公開資料

今年度は札幌農学校時代から北海道帝国大学時代の写真資料を中心に高精細画像を作成し、北方資料データベースで公開した。以下にその一例を紹介する。



1　札幌農学校演武場と北講堂　明治 22（1889）年以後（パブリックドメイン）




2　農科大学図書館　2　明治 44（1911）年頃（パブリックドメイン）




3　北大構庭の雪　昭和初（パブリックドメイン）



4　工学部全景　2　昭和初（パブリックドメイン）



5　新渡戸稲造（於フィラデルフィア）　明治 19（1886）年（パブリックドメイン）

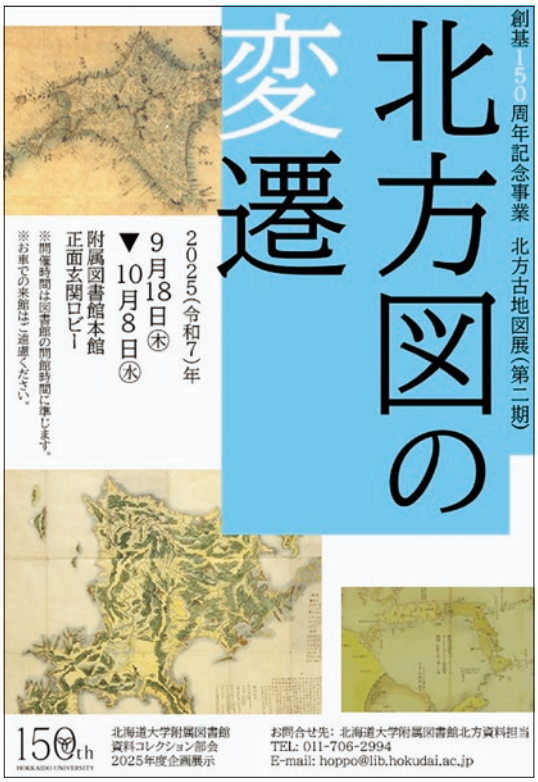
出典：北方資料データベース
https://www.lib.hokudai.ac.jp/hoppodb/

### （3）北方資料原写真の高解像度画像化

今年度に交付された科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「データベース」により、北方資料の一部である『明治大正期北海道写真目録』に収録されている写真原本（鶏卵紙等）約 5,500 枚のうち、著作権保護期間満了かつ高解像度画像が未撮影であるもの 543 枚について、高解像度画像を撮影するとともに国際規格である IIIF（International Image Interoperability Framework）に対応させたうえで公開を行った。

撮影は接写（トリミング）、全体像、背面の 3 カットカラー撮影とし、「資料、台紙の素材や色の様子」及び「周辺、裏の書き込み」といった付加情報を読み取ることができるように整備した。このことにより、新たな発見や議論への展開が期待できる。

### （4）北方資料企画展示「北方古地図展（第二期）」「北方図の変遷」



ポスター

9 月 27 日（土）～ 28 日（日）のホームカミングデーに合わせ、9 月 18 日（木）～ 10 月 8 日（水）の期間、本館正面玄関ロビーで開催した。図書館は北方地域に関する多くの資料を所蔵しているが、なかでも北海道（蝦夷）、カラフト、千島の地図・図類は系統的に収集している。

第二期は、昨年度に行った展示 「北方古地図展（第一期）北海道図の変遷」に続き、蝦夷地からさらにカラフト島や千島の島々にまで調査をすすめてきた歴史を北方図のパネルで概観し紹介した。今回は外部資金等を活用し、展示資料の多くを高精細で再撮影し、鮮やかな色彩で表現できた。アンケート・ボードには多くの方から「よかった」の声が寄せられた。

## B 国際連携強化

### （1）国連寄託図書館、EU 情報センター

図書館は、日本で 3 番目の国連寄託図書館であり、日本で 8 番目の EU 情報センター（EU i）である。

#### 1）日・EU フレンドシップウィーク関連図書展示



展示の様子

毎年、駐日欧州連合代表部広報部と国内の EU 情報センターが、ヨーロッパデー（5 月 9 日）の時期に連携して行う「日・EU フレンドシップウィーク」のイベントに参加している。今年度は、5 月 9 日（金）～ 6 月 1 日（日）に、本館 Sky Open Area で、今年の EU 議長国であるポーランドとデンマークに関する図書展示を行い、併せて EU クイズを実施した。展示図書は 6 冊が貸し出され、EU クイズは 21 名の応募があり、クイズ正解者には先着順で EU グッズを贈呈した。

### 2）北海道大学附属図書館× SDGs 関連図書展示



展示の様子



ポスター

国連広報センターが推奨する SDGs 活動の一環として、10 月 24 日（金）～ 11 月 27 日（木）に本館 Sky Open Area で関連図書展示を行った。今年は「4 質の高い教育をみんなに」をテーマに開催し、36 冊の図書を展示して、うち 16 冊が貸し出された。

## C 展示会・公開イベント

### （1）週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」






展示の様子

北図書館では令和 2 年度から、週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」を実施している。学生が興味を持ちそうなテーマを取り上げる、利用者からのリクエストによるテーマを採用する等、多様な図書を紹介することで読書意欲の向上を目的としている。利用者から寄せられるテーマにはさまざまなトピックがあり、おすすめ本展示への関心の高さが伺える。

展示図書は公式 X とブクログで公開している。

## （2）「本から学ぶアイヌ民族のことば、暮らし、歴史、交流：カンピヌカラアン ロ　―イタク、ウレシパ、ウパシクマ、ネプキ、ウコアプカシ―」展示



展示の様子

5 月 20 日（火）～ 6 月 30 日（月）に、北図書館でアイヌ共生推進本部と連携しアイヌ民族・文化に関連する企画展示を実施した。これは、初年次学生を対象とし 1 学期に集中講義として開講される必修科目「北大での学び」の開講時期に合わせて行ったもので、アイヌ民族への関心を高めるとともに、図書館資料の活用促進を目的としている。

期間中、展示した 39 冊中 11 冊が貸し出され、貸出回数は延べ 16 回となった。

# 4 その他

## A 外部資金獲得

### （1）古本募金

図書館では、自己収入獲得を目的として平成 28 年から「古本募金」事業に取り組んでいる。本館と北図書館に設置した回収ステーションに古本を入れてもらう他、部局図書館・室や研究室等での回収も行っている。

古本は業者が買取り、図書館の雑収入となる。1 月～12 月の買取冊数は 7,623 冊、買取金額は 496,338 円であった。

### （2）ネーミングライツ



Sky Open Area

本学では、地域の活性化・人材定着への寄与や民間企業等との連携機会の創出・拡大、教育研究環境向上のため安定した財政基盤を確立することを目的として、令和 5 年 1 月にネーミングライツ事業取扱要綱を制定した。

これに基づき、令和 6 年 2 月 1 日、本学と Sky 株式会社（以下「Sky」）が、大学施設のネーミングライツ（施設命名権）取得に関する「国立大学法人北海道大学ネーミングライツに関する契約書」を締結した。これにより、本館南棟 2 階オープンエリア及びリテラシールームの愛称を、「Sky Open Area」とした。なお、契約期間は令和 9 年 1 月 31 日までの 3 年間である。

本学と Sky は連携して、「Sky Open Area」の愛称が多くの学生に親しまれ定着するよう努めている。

## B 調査研究室職員プロジェクト実施報告

今年度は 4 件の応募があり、審査の結果、3 件の実施が承認された。なお 10 月、プロジェクト代表者の図書館外への異動により 1 つのプロジェクトが中止となったため、実施されたプロジェクトは 2 件となった。

各プロジェクトの活動目的等は次の通りである。

### （1）部局における研究成果の全体像把握及びオープンアクセス現況と見通しについての可視化（及び部局の分野ごと類型化）

**1）主な活動目的**

即時オープンアクセス義務化（以下、OA 義務化という。）が本格化する前に、今一度、部局図書職員自らが部局における研究成果の全体像を把握し、オープンアクセス現況と見通しについて可視化し、部局の分野ごとに可能な範囲で特色を類型化し、業務の量や進め方のイメージを図書担当において主体的に深める。

**2）参加調査研究室員**

長嶋岳生

**3）主な活動成果**

・理学部図書担当が所掌する部局（以下、理学部関係部局という。）の研究者が発表した学術論文のうち、OA 義務化対象は年間約 300 件弱と推定された。この 300 件弱について Gold + Free、Green、Not OA の割合はおおよそ 3 分の 1 である。すなわち、それぞれ 100 件弱くらいである。

・それでは OA 義務化が本格的に始まれば、Not OA の 100 件弱の分、Green 業務負担が増えるかと言うと、理学部関係部局の研究者においては Green も OA であることについての認知度が低そうであり、すぐにそうはならないかもしれない。

・電子ジャーナル掲載論文と同じページに Supplementary Data が掲載されているものは約 60%、Data Availability に外部データリポジトリへのリンクや情報があるものは約 6%だった。

・今回、各種のまとめは Copilot の力を借りつつ目視で

確認したが、容易にまとめられるものではないことが確認された。
・ただ、今回、研究室ごとにまとめて、理学部関係部局の分野ごと・研究室ごとの傾向を掴むことができた。

## （2）R7 電子ブック利用活性化

### 1）主な活動目的

電子ブック（電子書籍のこと。以下同じ）の利用を増やすための方策を検討し実施する。利用促進の対象とするプラットフォームは、主に紀伊國屋書店の KinoDen 及び丸善雄松堂書店の Maruzen eBook Library（MeL）とする。

今年度から学内での広報ツールとして、総合情報共有プラットフォーム（Unire）の運用が開始され、学生個々に直接情報を届けることができるようになった。この Unire を活用し、電子ブックに関した広報活動を展開する。コンテンツだけでなく、便利な使い方等も紹介する。

### 2）参加調査研究室員

菊池満史、工藤未来、森菜摘、石崎睦、林由梨奈、小林泰名、嶺野智康、城恭子

### 3）主な活動成果

**①電子ブックアクセスランキングの公開**

利用の多い電子ブックはそれだけ必要とする利用者が多いとみられることから、KinoDen、MeL のそれぞれの今年度上期（4 月～ 9 月）及び年間（今年 1 月～ 12 月）のアクセス数上位の電子ブックを図書館 HP お知らせ及び Unire で公開し、電子ブックの認知度向上に役立てた。

**②電子書籍利用体験会**

電子書籍の利用体験会を開催し、学生への電子書籍の利用促進を図った。利用者の多い 12 月に開催したが、体験会単独のためか、集客が悪く、利用ガイダンス等と抱き合わせで開催した方が効果的ではないかとの結論が得られた。

**③電子ブック QR コード付きカード配布**

電子ブックの URL を QR コード化し、それを配した親しみやすいデザインのカードを北図書館で配布することで、電子ブックに対する特に初年次学生の関心を惹くとともに認知度向上を図った。

カードはある程度捌けたが、各資料のアクセス数には影響がみられなかった。QR コードの読み込みを負担に感じたか、QR コード読込後の手順（ログイン等）が分からなかった可能性が考えられる。

本企画に関して、函館キャンパス所属の学生からの問い合わせもあり、学生への訴求力がありそうである。配付場所の拡大や時期を見直すことでより効果的に実施できる可能性がある。

**④就職活動関連電子ブックの利用促進**

就職活動関連の電子ブックを集めた Web 本棚（ブクログ）を紹介するポスターを作成し、キャリアセンター及び学内図書館・室に掲示を依頼した。

キャリアセンターで掲示してもらうことで、就活関連の情報を求めている学生に効果的に電子ブックの存在を示すことができる。

**⑤利用の多い電子ブックのアクセス数追加の提案**

同時アクセス数超過の多い電子ブック 8 点を抽出し、同時アクセス数を増やし、利用者の利便性向上を図った。

一部の電子ブックでは利用数が伸びず、同時アクセス数を追加する場合は、アクセス数の時期的な動向等にも着目する必要があるとの知見を得た。

**⑥アクセシビリティ支援**

②の電子ブック利用体験会で、電子ブックには各自が読みやすい表示形式にカスタマイズできるものがあることを説明した。

プリント・ディスアビリティの有無に関わらず活用できるガイドについて、要点がまとめられているサイトを学習支援企画担当を通じてアクセシビリティ支援室に情報提供した。

筑波技術大学読書バリアフリーコンソーシアムテクノロジーハブ
https://www.i.tsukuba-tech.ac.jp/techhub/search-books/

**⑦ Unire での広報効果**

「アクセスランキング（2025 上期、年間）」と「電子ブック利用体験会」のお知らせでは、学生の閲覧数は 3,000 名前後だった（2 月 25 日調べ）。対象となる学生数は約 20,000 名なので、既読率では 15％前後となる。

率では少ないとしても、3,000 名の学生の目には触れているという実感を得られたことは広報をするうえで大きな励みとなる。

## C 広報活動

### （1）公式 X（旧 Twitter）



公式 X（旧 Twitter）

新型コロナウイルス感染症への対応の一環で、開館状況等の迅速な告知を主な目的として令和 2 年 4 月 21 日に開設した。今年度も、主として図書館の利用方法や展示等イベントの案内について投稿を行った。累積ツイート数はリツイートも含めて 1,645 件、フォロワーは 2,639 名である（3 月末時点）。

主に学生の関心に沿った、親しみやすいツイートを続けていくことが今後の課題である。

URL：https://x.com/Hokudai_Library

### （2）公式 note



公式 note

職員が日々の業務内容や業務を通じて考えたこと等を紹介し、大学図書館やその業務に関心を持ってもらうことを目的として令和 2 年 2 月 16 日に開設した。

フォロワーは 3 月末時点で 222 名であり、図書館の「中の人」の生の声を読むことができる貴重な場となっている。今年度は、新たに以下の 1 本の記事を公開した。

・90 歳、認知症の祖母は本を読んでいる

URL：https://note.com/hu_library

## D DX 業務推進室での活動

本学では令和 4 年 4 月 1 日に DX（デジタル・トランスフォーメーション）業務推進室を設置し、北海道大学デジタル・キャンパス推進の基本理念と基本方針（令和 4 年 6 月 6 日総長裁定）、北海道大学事務 DX 戦略（令和 4 年 7 月 25 日役員会了承）の下で、デジタルテクノロジー活用と職員のマインド変革による業務改善と働きやすい環境の整備を目指し、事務 DX を推進している。

DX 業務推進室は 3 月現在、情報企画課専従室員 7 名と全学からの職務付加室員 11 名で構成されている。図書館からは、職務付加室員として 1 名が参加している他、後述する「生成 AI 業務活用促進」プロジェクトにも 1 名がプロジェクトメンバーとして活動している。

今年度の DX 業務推進室全体の主な取組みとして、次の 4 点が挙げられる。

1 点目は北海道大学統合情報共有プラットフォーム（愛称：Unire（ユニーレ））の運用に係る取組みである。今年度より本運用が開始されたこのシステムは、学内の情報を一か所に集約し情報伝達をより円滑に行うことを目的とした学生向けサービスを中心とするポータルサイトとして機能している。

2 点目は生成 AI ツールの利用促進である。本学では業務における Microsoft 365 Copilot の活用を進めており、学内セミナーや Microsoft Teams 上の専用チャンネルを通じて、基本的な利用方法からより実践的な情報まで、広く発信を行っている。

3 点目は学内会議及び打合せ業務の標準化である。業務負担の軽減と経費削減を目的に、Microsoft Teams Web 会議を用いた効率的な会議・打合せの仕組みづくりと周知を進めている。

4 点目は事務 DX や新たな働き方推進のための意識醸

成を促進する MX（マインド・トランスフォーメーション）研修の実施である。本研修には、図書館の職員も複数名参加している。

職務付加室員は上記 4 件に対する意見提出や推進に加え、「業務の平準化・システム化」の観点から事務業務で役立つ電子書籍について周知を行った。

# 連携事業 令和７年度

| No. | 時期 | 内容 | 連携先 | 学内・学外 | 備考（北大時報やX掲載等） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 3/27 ～ 6/18 | 「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示（北図書館） | 北海道大学生活協同組合書籍部 | 学外 | |
| 2 | 4/1 | 法学部２年生進級ガイダンスでの図書館利用案内 | 法学事務部 | 学内 | |
| 3 | 4/2 | 公共政策大学院入学者向けガイダンスでの図書館利用案内 | 同上 | 学内 | |
| 4 | 4/17、4/24、5/9 | 法情報の探し方 | 法学政治学資料センター | 学内 | |
| 5 | 5/9 ～ 6/1 | 日・EU フレンドシップウィーク関連図書展示 | 駐日欧州連合代表部 政治・広報部 | 学外 | X 掲載　6/17 |
| 6 | 5/20 ～ 6/30 | 「本から学ぶアイヌ民族のことば、暮らし、歴史、交流：カンピヌカラアン ロ　―イタク、ウレシパ、ウパシクマ、ネプキ、ウコアプカシ―」展示（北図書館） | アイヌ共生推進本部 | 学内 | |
| 7 | 7/1 ～ 9/1 | 「物理・数学・統計学・化学」入門図書展示（北図書館） | 高等教育推進機構ラーニングサポート室 | 学内 | X 掲載　7/2 |
| 8 | 9/22 ～ 11/7 | １年生の学部移行を応援！学部解説関連図書展示（北図書館） | 高等教育推進機構ラーニングサポート室 | 学内 | |
| 9 | 10/30、11/5 | 法情報の探し方 | 法学政治学資料センター | 学内 | |
| 10 | 11/21 | SciVal 講習会「自分の研究をどう見せる？どう研究に活かす？」 | 統合 URA 本部 | 学内 | |
| 11 | 11/28 ～ 2/3 | フィンランド関連図書展示（本館・北図書館） | ダイバーシティー・インクルージョン推進本部 | 学内 | X 掲載　12/9 |
| 12 | 12/10 | Preparing Your Research Article for Submission（英語論文執筆セミナー） | 先端人材育成センター・I-HoP | 学内 | X 掲載　11/27 |
| 13 | 12/10、12/17、12/24 | コンテンツ制作を通して学ぶ、伝えるためのデジタルリテラシー入門 | 大学院教育推進機構オープンエデュケーションセンター | 学内 | X 掲載　11/26、12/3、北大時報 No.864（令和８年３月） |
| 14 | 通年 | 大学院特別教育プログラム OGGs（オッグズ）展示（本館・北図書館） | 学務部国際交流課 | 学内 | |
| 15 | 通年 | スタディ・スキルセミナー | 高等教育推進機構ラーニングサポート室 | 学内 | |

# ガイダンス・講習会 令和７年度

| No. | 時期 | 内容 |
|---|---|---|
| 1 | 4/1 | 法学部２年生進級ガイダンスでの図書館利用案内（対面） |
| 2 | 4/1 ～ 4/11 | 図書室利用ガイダンス（対面）（水産科学研究院） 全 11 回 |
| 3 | 4/2 | 公共政策大学院入学者向けガイダンスでの図書館利用案内（対面） |
| 4 | 4/3 ～ 4/10 | 新入生ガイダンス(対面)(北図書館) 全23回 |
| 5 | 4/4 | JLCSP(日本語・日本文化研修生)新入生オリエンテーション(対面)(北図書館) |
| 6 | 4/7 | HUSTEP(北海道大学短期留学プログラム)新入生オリエンテーション(対面)(北図書館) |
| 7 | 4/15 | オーダーメード講習会（対面）（文学研究院） |
| 8 | 4/16 | オーダーメード講習会（対面）（公共政策大学院：山崎幹根教授） |
| 9 | 4/17、4/22 | オーダーメード講習会（対面）（保健科学研究院：小林后助教） 全２回 |
| 10 | 4/17、4/24、5/9 | 法情報の探し方（対面） |
| 11 | 4/18 | 放送大学 学友会 図書館利用ガイダンス(対面)(北図書館) |
| 12 | 4/21 | オーダーメード講習会（対面）（法学研究科：齋藤由起教授） |
| 13 | 4/22 ～ 4/24 | 図書館利用ガイダンス（対面） 全６回（＊うち１回は参加者０名） |
| 14 | 4/23 | オーダーメード講習会（対面）（法学研究科：児矢野マリ教授） |
| 15 | 4/23、4/25 | 文献検索ガイダンス（2025）（ハイブリッド）（水産科学研究院） 全２回 |
| 16 | 5/7 | オーダーメード講習会（対面）（経済学研究院：高井哲彦准教授） |
| 17 | 5/7 | オーダーメード講習会（対面）（工学研究院：松井良太准教授） |
| 18 | 5/20 | オーダーメード講習会（ハイブリッド）（医学研究院：玉腰暁子教授） |
| 19 | 5/20 | 日経テレコン活用講座（対面） |
| 20 | 5/21 | オーダーメード講習会（対面）（水産科学研究院：米山和良准教授） |
| 21 | 6/12、6/16、6/26 | 文献収集・管理ツール講習会（対面） 全３回 |
| 22 | 6/19 | オーダーメード講習会（対面）（水産科学研究院：笠井久会教授） |
| 23 | 6/25 | eol 講習会（対面）（経済学研究院） |
| 24 | 7/2 | オーダーメード講習会（オンライン）（歯学研究院：「医学研究概論」） |
| 25 | 7/14、7/28、7/31 | オーダーメード講習会（対面）（教育学研究院：阿部匡樹教授） 全３回 |
| 26 | 7/16 | GitHub 講習会（基礎編）（対面） |
| 27 | 9/18、9/25 | オーダーメード講習会（対面）（医学研究院：病院薬剤部） |
| 28 | 9/22、9/24 | 高大連携授業聴講型公開講座ガイダンス(対面)(北図書館) 全2回 |
| 29 | 9/24 | オーダーメード講習会（対面）（薬学研究院：基礎実習ガイダンス） |
| 30 | 9/25 | GitHub 講習会（応用編）（対面） |
| 31 | 9/30 | JLCSP(日本語・日本文化研修生)新入生オリエンテーション(対面)(北図書館) |
| 32 | 9/30 | HUSTEP(北海道大学短期留学プログラム)新入生オリエンテーション(対面)(北図書館) |
| 33 | 10/9 | オーダーメード講習会（対面）（保健科学研究院：高島弘幸准教授） |

| No. | 時期 | 内容 |
|---|---|---|
| 34 | 10/14 | 日経 BP 講習会（対面） |
| 35 | 10/14、10/21 | オーダーメード講習会（対面）（保健科学研究院：石田知也講師） 全 2 回 |
| 36 | 10/17 | CAS SciFinder® 講習会（対面）（薬学研究院：ドラッグデザイン演習） |
| 37 | 10/19 | オーダーメード講習会（対面）（農学研究院：田上貴祥准教授） |
| 38 | 10/20 | オーダーメード講習会（対面）（法学研究科：齋藤由起教授） |
| 39 | 10/21 | オーダーメード講習会（対面）（法学研究科：曽野裕夫教授） |
| 40 | 10/21 | EndNote2025 講習会（オンライン）（医系グループ） |
| 41 | 10/21 | オーダーメード講習会（対面）（薬学研究院：柏木仁講師） |
| 42 | 10/23、10/30 | オーダーメード講習会（対面）（文学研究院：小山亮准教授） |
| 43 | 10/30、11/5 | 法情報の探し方（対面） |
| 44 | 11/11 | 国際機関情報の探し方（国連編）（EU 編）（対面） |
| 45 | 11/21 | SciVal 講習会「自分の研究をどう見せる？どう研究に活かす？」（オンライン） |
| 46 | 11/21 | 放送大学 学友会 図書館利用ガイダンス（対面）（北図書館） |
| 47 | 11/26 | eol 講習会（対面）（経済学研究院） |
| 48 | 11/26 | CAS SciFinder® 対面演習型セミナー（対面）（工学研究院） |
| 49 | 11/26 | CAS SciFinder® 対面演習型セミナー（対面）（理学研究院） |
| 50 | 11/26 | オーダーメード講習会（対面）（農学研究院：実山豊講師） |
| 51 | 11/28、12/1 | オーダーメード講習会（対面）（志堅原郁子非常勤講師） |
| 52 | 12/3、12/10 | オーダーメード講習会（対面）（歯学研究院：「フロンティア基礎科目」） 全2回 |
| 53 | 12/9 | ジャパンナレッジ講習会（対面） |
| 54 | 12/10 | Preparing Your Research Article for Submission（英語論文執筆セミナー）（オンライン） |
| 55 | 12/10、12/17、12/24 | コンテンツ制作を通して学ぶ、伝えるためのデジタルリテラシー入門（対面） |
| 56 | 12/18 | オーダーメード講習会（対面）（水産科学研究院：笠井久会教授） |
| 57 | 通年 | 図書館情報入門（対面） 全47回 |
| 58 | 通年 | スタディ・スキルセミナー（オンデマンド） |
| 59 | 通年 | 図書館30分セミナー「書庫利用ガイダンス編」（対面） 全9回 |
| 60 | 通年 | 図書館30分セミナー「資料収集の基本編」（対面） 全25回 |
| 61 | 通年 | 30分講習会（対面・オンライン）（医系グループ） 全4回 |

# 活動日誌 令和 7 年度

| 時期 | | 内容 |
|---|---|---|
| 3月 | 3/27 ～ 6/18 | 「ようこそ北大へ！～新生活を彩る、役に立つ！おすすめ本～」展示（北図書館） |
| 4月 | 4/4 ～ 6/30 | 企画展示「学会発表・プレゼンテーション」（工学研究院中央図書室） |
| | 4/18 | 第57回国立大学図書館協会北海道地区協会総会（館長、副館長、学術情報部長、図書館企画課長、図書館利用支援課長、学術情報支援課長）（本学） |
| 5月 | 5/9 ～ 6/1 | 日・EU フレンドシップウィーク関連図書展示 |
| | 5/13 | 砂川市立砂川中学校来館 |
| | 5/20 ～ 6/30 | 「本から学ぶアイヌ民族のことば、暮らし、歴史、交流：カンピヌカラアン ロ　―イタク、ウレシパ、ウパシクマ、ネプキ、ウコアプカシ―」展示（北図書館） |
| | 5/22 | 北海道地区大学図書館協議会相互利用サービス事務担当者会議（図書館利用支援課）（北星学園大学） |
| | 5/22 | 根室市立光洋中学校来館 |
| | 5/23 | 国立大学図書館協会春季理事会（令和6年度）（館長、学術情報部長、図書館企画課長）（東京大学、オンライン） |
| 6月 | 6/3 | 第67回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（図書館利用支援課課長補佐）（札幌学院大学） |
| | 6/6 | 学術情報流通に関する連続セミナー第8回「科学技術政策の中のオープンアクセス：遥かなるEBPMへの道」（図書館利用支援課長）（オンライン） |
| | 6/11 | クラリベイトライブラリーデー2025（図書館利用支援課）（札幌） |
| | 6/16 ～ 6/18 | NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2025（図書館利用支援課長、学術情報支援課長）（オンライン） |
| | 6/19 ～ 6/20 | 第72回国立大学図書館協会総会（館長、学術情報部長、図書館企画課長）（東北大学、オンライン） |
| | 6/19 ～ 9/11 | 自分の世界を広げる図書展示（北図書館） |
| | 6/20 | 国立大学図書館協会第 1 回理事会（館長、学術情報部長、図書館企画課長）（東北大学） |
| | 6/24 | 天塩高等学校来館（北図書館） |
| | 6/30 | 国立大学図書館協会システム委員会勉強会「生成 AI との向き合い方」（図書館利用支援課長）（オンライン） |
| 7月 | 7/1 ～ 9/1 | 「物理・数学・統計学・化学」入門図書展示（北図書館） |
| | 7/1 ～ 9/30 | 企画展示「自動運転」（工学研究院中央図書室） |
| | 7/2 | 第 1 回学術研究コンテンツ小委員会（オンライン） |
| | 7/8 | 北海道地区大学図書館協議会令和 6 年度第 3 回幹事館会議（図書館利用支援課長、図書館利用支援課課長補佐） |
| | 7/10 | 石狩市立花川南中学校来館 |
| | 7/18 | 学術情報流通に関する連続セミナー第 9 回「学術論文の意義、評価、査読のあり方：若手研究者からの私見」（図書館利用支援課長）（オンライン） |
| | 7/18 ～ 9/30 | 「機関リポジトリの次の一手を考える」シリーズ勉強会 第 17 回～第 21 回（学術情報支援課）（オンライン） |
| | 7/22 | セミナー「ダイヤモンドオープンアクセスに関する世界の潮流」（学術情報支援課）（オンライン） |
| 8月 | 8/1 | 第 261 回（令和 7 年度第 1 回）図書館委員会（オンライン） |
| | 8/5 | 藤女子大学来館 |
| | 8/6 | 第 67 回北海道地区大学図書館職員研究集会（館長、図書館利用支援課長、図書館利用支援課課長補佐、図書館利用支援課、学術情報支援課）（札幌学院大学） |
| | 8/7 | 全羅南道教育庁来館（北図書館） |
| | 8/7 ～ 8/28、9/1 ～ 9/8 | 第 1 回図書選定小委員会（メール審議） |
| | 8/20 | 国立大学図書館協会北海道地区協会地区助成検討企画 WG 第 1 回ミーティング（図書館企画課長、図書館企画課、図書館利用支援課）（オンライン） |
| | 8/25 | 第 75 回北海道地区大学図書館協議会総会（館長、図書館利用支援課長、図書館利用支援課課長補佐、図書館利用支援課）（札幌） |
| | 8/28 | 研究データエコシステム北海道コンソーシアム設立シンポジウム（学術情報支援課長）（本学） |
| | 8/29 | 第 2 回ローコード開発ツール勉強会「Microsoft Power Apps を使ってみよう～施設予約アプリ編」（学術情報支援課）（オンライン） |

| 時期 | | 内容 |
|---|---|---|
| 9月 | 9/1 | 初芝富田林高等学校来館(北図書館) |
| | 9/1 ～ 9/5 | 北海道大学インターンシップ |
| | 9/9 | ScholAgora 第 10 回セミナー「Unsub とは何か～シリアルズ・クライシス、ビッグディール、そして Unsub ～」(図書館利用支援課、学術情報支援課)(オンライン) |
| | 9/11 ～ 9/12 | 第 65 回北海道図書館大会(図書館利用支援課長、図書館利用支援課課長補佐)(札幌) |
| | 9/12 ～ 11/27 | 図書展示「読書と芸術の秋」(北図書館) |
| | 9/17 | 国立大学図書館協会北海道地区協会地区助成検討企画 WG 第 2 回ミーティング(図書館企画課長、図書館企画課、図書館利用支援課)(オンライン) |
| | 9/18 ～ 10/8 | 「北方古地図展(第 2 期)北方図の変遷」展 |
| | 9/19 ～ 12/26 | 図書館等職員著作権実務講習会(図書館利用支援課)(オンデマンド) |
| | 9/22 ～ 11/7 | 1 年生の学部移行を応援！学部解説関連図書展示(北図書館) |
| | 9/24 ～ 9/26 | 立命館大学図書館からの派遣職員受入れ |
| | 9/26 | RUC 学術情報流通に関する連続セミナー第 11 回「研究情報のオープン化がもたらすもの：OpenAlex を用いたオープンアクセス分析」(図書館利用支援課長、図書館利用支援課)(オンライン) |
| | 9/30 | 国立大学図書館協会北海道地区協会地区助成検討企画 WG 第 3 回ミーティング(図書館企画課長、図書館企画課、図書館利用支援課)(オンライン) |
| 10月 | 10/1 | 北海道教育大学附属札幌中学校来館 |
| | 10/1 ～ 12/26 | 企画展示「人間工学」(工学研究院中央図書室) |
| | 10/3 | 北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー(図書館企画課、図書館利用支援課)(本学、オンライン) |
| | 10/6 | 防災訓練 |
| | 10/15 | フィンランド・ノルウェー・スウェーデンの国立アーカイブ専門職員来館・情報交換(図書館利用支援課) |
| | 10/21 | 国立大学図書館協会北海道地区協会地区助成検討企画 WG 第 4 回ミーティング(図書館企画課長、図書館企画課、図書館利用支援課)(オンライン) |
| | 10/23 | 図書館総合展「オープンアクセス加速の切り拓く未来を語らう―大学図書館と政策の交差点」(図書館利用支援課)(オンライン) |
| | 10/24 | 図書館総合展「JAIRO Cloud で実践する即時 OA 対応」(図書館利用支援課)(オンライン) |
| | 10/24 | 図書館総合展「図書館の課題 × 生成 AI を体験」(図書館利用支援課)(オンライン) |
| | 10/24 ～ 11/27 | SDGs 関連図書展示「SDGs を知ろう！」 |
| | 10/29 | 第 2 回学術研究コンテンツ小委員会(オンライン) |
| | 10/29 | 国立大学図書館協会北海道地区協会地区助成検討企画 WG 第 5 回ミーティング(図書館企画課長、図書館企画課、図書館利用支援課)(オンライン) |
| 11月 | 11/5 | 第 1 回学術成果刊行助成審査委員会(オンライン) |
| | 11/13 | 国立大学図書館協会秋季理事会(館長、副館長、学術情報部長、図書館企画課長、図書館利用支援課長、学術情報支援課長)(オンライン) |
| | 11/13 | JMLA/JPLA 共催第 27 回図書館総合展イベント「電子ジャーナル契約の最適化に向けて：Unsub の概要とその導入支援の取り組み」(学術情報支援課)(オンライン) |
| | 11/14 | 研究データエコシステム北海道コンソーシアム第 1 回勉強会(図書館利用支援課長、学術情報支援課長)(本学) |
| | 11/14 | 図書館等職員著作権実務講習会 演習問題(試験)(図書館利用支援課)(東京) |
| | 11/17 ～ 12/1 | 第 2 回図書選定小委員会(メール審議) |
| | 11/21 | 札幌市立啓明中学校来館 |
| | 11/25 | 北海道武蔵女子短期大学来館 |
| | 11/28 | 国立大学図書館協会北海道地区協会事務部課室長会議(学術情報部長、図書館企画課長、図書館利用支援課長、学術情報支援課長)(本学、オンライン) |
| | 11/28 ～ 12/2 | 東京大学史料編纂所ワークショップ「写真の技法識別と取り扱い・保存」(図書館企画課)(東京大学) |
| | 11/28 ～ 2/3 | フィンランド関連図書展示(北図書館) |

| 時期 | | 内容 |
|---|---|---|
| 12月 | 12/1 ～ 1/16 | フィンランド関連図書展示（本館） |
| | 12/3 ～ 12/4 | 障害者サービス担当職員向け講座（図書館利用支援課）（オンライン） |
| | 12/9 | 島根県立隠岐高等学校来館 |
| | 12/11 | 大学業務ソリューションセミナー（学術情報支援課）（オンライン） |
| | 12/11 | 札幌光星高等学校来館 |
| | 12/12 | 第 9 回 JMLA 学術集会（学術情報支援課）（オンライン） |
| | 12/15 | 第 262 回（令和 7 年度第 2 回）図書館委員会（オンライン） |
| | 12/17 | 国立大学図書館協会北海道地区協会地区助成検討企画 WG 第 6 回ミーティング（図書館企画課長、図書館企画課、図書館利用支援課）（オンライン） |
| | 12/18 | 研究データエコシステム東北コンソーシアム設立シンポジウム（学術情報支援課長、学術情報支援課）（仙台） |
| | 12/22 | 国立大学図書館協会シンポジウム（図書館利用支援課長、図書館利用支援課）（オンライン） |
| | 12/23 | 研究データエコシステム北海道コンソーシアム第 1 回セミナー（学術情報支援課長）（オンライン） |
| 1月 | 1/5 ～ 4/3 | 企画展示「量子コンピューティング」（工学研究院中央図書室） |
| | 1/9 | 大学図書館シンポジウム（図書館利用支援課長）（オンライン） |
| | 1/16 | 第99次国立七大学附属図書館協議会（館長、副館長、学術情報部長、図書館企画課長、図書館利用支援課長、学術情報支援課長）（オンライン） |
| | 1/20 | UN Charter Libraries Knowledge Network 地域別フォーカスグループミーティング（図書館利用支援課）（オンライン） |
| | 1/21 | 北海道地区大学図書館協議会令和7年度第1回幹事館会議（図書館利用支援課長、図書館利用支援課課長補佐） |
| | 1/23 | SPARC Japanセミナー2025「リポジトリの永続性と信頼性：持続可能な学術情報基盤をどう築くか」（学術情報支援課長）（オンライン） |
| | 1/25 ～ 1/31 | Charleston Conference Asia 2026（図書館企画課）（タイ国） |
| 2月 | 2/4 ～ 3/26 | 進路選択応援！就活・進学関連図書展示（北図書館） |
| | 2/6 | 第9回東京大学学術資産アーカイブ化推進室主催セミナー（図書館利用支援課長）（オンライン） |
| | 2/17 ～ 3/3 | 第3回図書選定小委員会（メール審議） |
| | 2/18 | 国立大学図書館協会北海道地区協会地区助成検討企画WG第7回ミーティング（図書館企画課長、図書館企画課、図書館利用支援課）（オンライン） |
| | 2/27 | 京都大学研究データ管理シンポジウム「オープンサイエンスに向けた研究データ管理支援の現状と課題」（学術情報支援課長、学術情報支援課）（京都大学） |
| | 2/28 ～ 3/1 | 神奈川大学日本常民文化研究所 第29回古文書修復講座（図書館企画課）（神奈川大学） |
| 3月 | 3/10 | 第3回学術研究コンテンツ小委員会（オンライン） |
| | 3/11 | 研究データエコシステム北海道コンソーシアム第2回セミナー（図書館利用支援課長、学術情報支援課長）（オンライン） |
| | 3/18 | 第68回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（図書館利用支援課課長補佐）（北星学園大学） |
| | 3/19 | 第1回質保証小委員会、第263回（令和7年度第3回）図書館委員会（オンライン） |
| 通年 | | 大学院特別教育プログラムOGGs（オッグズ）展示（本館・北図書館） |
| | | 週替わり展示企画「今週の北図書おすすめ本」（北図書館） |

# 学外講師派遣等 令和７年度

| No. | 時期 | 報告者 | 内容 | 発表先・媒体 | 連携先 | 学内・学外 | 種別（寄稿、発表、講師、論文等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6/11 | 三関紫芳 | Web of Science および ProQuest 製品の利用促進に関する北海道大学附属図書館の取り組み | クラリベイトライブラリーデー 2025 | クラリベイトアナリシス | 学外 | 発表 |
| 2 | 3/5 | 石崎睦 | Charleston Conference Asia 2026概要説明、参加報告 | Charleston Conference Asia 2026参加報告会 | 国立大学図書館協会資料委員会 | 学外 | 発表 |
| 3 | 3/11 | 佐々木翼 | 即時オープンアクセス義務化方針に沿った機関リポジトリでの論文・根拠データ公開 | 研究データエコシステム北海道コンソーシアム第２回セミナー | 研究データエコシステム北海道コンソーシアム | 学内 | 講師 |
| 4 | 3/23 | 石崎睦 | 北海道大学附属図書館における写真資料の保存 | 国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇 第22号 | 国文学研究資料館 | 学外 | 論文 |

# 統　計

## 基盤統計

### 令和 7 年度蔵書・受入統計（対象期間：R7.4.1 ～ R8.3.31）

| 区分 | 所蔵冊数（令和 8 年 3 月 31 日現在） | | | 受入冊数（令和 7 年度） | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 購入 | | | 寄贈 | | | 製本 | | | 総計 | | |
| | 和 | 洋 | 計 | 和 | 洋 | 計 | 和 | 洋 | 計 | 和 | 洋 | 計 | 和 | 洋 | 計 |
| 附属図書館（本館） | 1,042,711 | 888,095 | **1,930,806** | 3,404 | 420 | **3,824** | 2,580 | 175 | **2,755** | 297 | 11 | **308** | 6,281 | 606 | **6,887** |
| 附属図書館（北図書館） | 274,447 | 118,527 | **392,974** | 3,189 | 103 | **3,292** | 62 | 60 | **122** | 22 | 0 | **22** | 3,273 | 163 | **3,436** |
| 文学研究院・文学院・文学部 | 107,177 | 45,023 | **152,200** | 574 | 197 | **771** | 3,698 | 650 | **4,348** | 168 | 189 | **357** | 4,440 | 1,036 | **5,476** |
| 法学研究科・法学部 | 7,703 | 1,715 | **9,418** | 76 | 52 | **128** | 478 | 176 | **654** | 234 | 132 | **366** | 788 | 360 | **1,148** |
| 経済学研究院・経済学院・経済学部 | 6,650 | 2,368 | **9,018** | 77 | 7 | **84** | 115 | 7 | **122** | 46 | 0 | **46** | 238 | 14 | **252** |
| 医学研究院・医学院・医学部 | 53,644 | 93,623 | **147,267** | 380 | 18 | **398** | 59 | 19 | **78** | 68 | 5 | **73** | 507 | 42 | **549** |
| 歯学研究院・歯学院・歯学部 | 23,187 | 16,018 | **39,205** | 108 | 6 | **114** | 20 | 1 | **21** | 36 | 4 | **40** | 164 | 11 | **175** |
| 工学研究院・工学院・工学部 | 106,783 | 99,386 | **206,169** | 786 | 72 | **858** | 163 | 33 | **196** | 137 | 29 | **166** | 1,086 | 134 | **1,220** |
| 獣医学研究院・獣医学院・獣医学部 | 8,683 | 23,170 | **31,853** | 33 | 2 | **35** | 5 | 8 | **13** | 4 | 13 | **17** | 42 | 23 | **65** |
| 情報科学研究院・情報科学院 | 13,303 | 16,647 | **29,950** | 97 | 1 | **98** | 1 | 1 | **2** | 0 | 0 | **0** | 98 | 2 | **100** |
| 水産科学研究院・水産科学院・水産学部 | 72,768 | 54,029 | **126,797** | 338 | 12 | **350** | 66 | 35 | **101** | 48 | 21 | **69** | 452 | 68 | **520** |
| 地球環境科学研究院・環境科学院 | 5,421 | 4,794 | **10,215** | 35 | 9 | **44** | 3 | 1 | **4** | 0 | 0 | **0** | 38 | 10 | **48** |
| 理学研究院・理学院・理学部 | 48,572 | 168,754 | **217,326** | 360 | 96 | **456** | 363 | 2,143 | **2,506** | 6 | 8 | **14** | 729 | 2,247 | **2,976** |
| 薬学研究院・薬学部 | 8,285 | 3,739 | **12,024** | 66 | 1 | **67** | 22 | 4 | **26** | 7 | 0 | **7** | 95 | 5 | **100** |
| 農学研究院・農学院・農学部 | 127,921 | 97,165 | **225,086** | 262 | 46 | **308** | 257 | 182 | **439** | 29 | 12 | **41** | 548 | 240 | **788** |
| 先端生命科学研究院・生命科学院 | 249 | 180 | **429** | 8 | 0 | **8** | 1 | 0 | **1** | 0 | 0 | **0** | 9 | 0 | **9** |
| 教育学研究院・教育学院・教育学部 | 14,097 | 2,867 | **16,964** | 103 | 6 | **109** | 75 | 66 | **141** | 166 | 0 | **166** | 344 | 72 | **416** |
| メディアコミュニケーション研究院、国際広報メディア・観光学院 | 868 | 1,437 | **2,305** | 1 | 0 | **1** | 0 | 2 | **2** | 0 | 0 | **0** | 1 | 2 | **3** |
| 保健科学研究院・保健科学院 | 28,911 | 3,519 | **32,430** | 297 | 1 | **298** | 23 | 0 | **23** | 25 | 0 | **25** | 345 | 1 | **346** |
| 公共政策大学院 | 0 | 0 | **0** | 24 | 22 | **46** | 3 | 5 | **8** | 0 | 0 | **0** | 27 | 27 | **54** |
| 低温科学研究所 | 10,582 | 24,398 | **34,980** | 0 | 0 | **0** | 2 | 2 | **4** | 11 | 2 | **13** | 13 | 4 | **17** |
| 電子科学研究所 | 471 | 263 | **734** | 0 | 0 | **0** | 3 | 2 | **5** | 0 | 0 | **0** | 3 | 2 | **5** |
| 遺伝子病制御研究所 | 46 | 31 | **77** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** |
| 触媒科学研究所 | 4,720 | 16,935 | **21,655** | 0 | 1 | **1** | 1 | 2 | **3** | 0 | 0 | **0** | 1 | 3 | **4** |
| スラブ・ユーラシア研究センター | 3,618 | 77,858 | **81,476** | 24 | 334 | **358** | 227 | 1,752 | **1,979** | 26 | 397 | **423** | 277 | 2,483 | **2,760** |
| 情報基盤センター | 88 | 1 | **89** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** |
| 国際連携機構 | 1 | 0 | **1** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** |
| 高等教育推進機構 | 2,583 | 647 | **3,230** | 0 | 0 | **0** | 1 | 0 | **1** | 0 | 0 | **0** | 1 | 0 | **1** |
| 大学院教育推進機構 | 117 | 11 | **128** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** |
| 総合博物館 | 11,156 | 3,581 | **14,737** | 0 | 5 | **5** | 244 | 8 | **252** | 0 | 0 | **0** | 244 | 13 | **257** |
| 北方生物圏フィールド科学センター | 6,570 | 1,855 | **8,425** | 4 | 1 | **5** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 4 | 1 | **5** |
| 大学文書館 | 3,725 | 83 | **3,808** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** |
| 技術連携統括本部 | 15 | 0 | **15** | 6 | 0 | **6** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 6 | 0 | **6** |
| アイヌ・先住民研究センター | 5,029 | 695 | **5,724** | 23 | 12 | **35** | 68 | 2 | **70** | 0 | 0 | **0** | 91 | 14 | **105** |
| 人間知・脳・AI 研究教育センター | 22 | 18 | **40** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** |
| 総合イノベーション創発機構 | 4 | 3 | **7** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** | 0 | 0 | **0** |
| **計** | **2,000,127** | **1,767,435** | **3,767,562** | **10,275** | **1,424** | **11,699** | **8,540** | **5,336** | **13,876** | **1,330** | **823** | **2,153** | **20,145** | **7,583** | **27,728** |

※「所蔵冊数」は、当該部局に配架されている図書等の冊数。
※「受入冊数」は、当該部局予算による購入・製本、及び当該部局において寄贈受入した図書等の冊数で、別部局に配架した図書等を含む。なお、移動（部局をまたぐ所在変更）に伴う増減、除却に伴う減少は含まない。

## 令和７年度雑誌所蔵・受入種類統計（対象期間：R7.4.1 ～ R8.3.31）

| 区分 | 所蔵種類数（令和８年３月31日現在） | | | 受入種類数（令和７年度） | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 購入 | | | 寄贈 | | | 合計 | | |
| | 和 | 洋 | 計 | 和 | 洋 | 計 | 和 | 洋 | 計 | 和 | 洋 | 計 |
| 附属図書館（本館） | 22,097 | 14,217 | **36,314** | 137 | 27 | **164** | 299 | 13 | **312** | 436 | 40 | **476** |
| 附属図書館（北図書館） | 967 | 640 | **1,607** | 114 | 4 | **118** | 10 | 1 | **11** | 124 | 5 | **129** |
| 文学研究院・文学院・文学部 | 2,010 | 649 | **2,659** | 175 | 101 | **276** | 418 | 7 | **425** | 593 | 108 | **701** |
| 法学研究科・法学部 | 625 | 255 | **880** | 122 | 114 | **236** | 236 | 16 | **252** | 358 | 130 | **488** |
| 経済学研究院・経済学院・経済学部 | 968 | 231 | **1,199** | 70 | 9 | **79** | 186 | 8 | **194** | 256 | 17 | **273** |
| 医学研究院・医学院・医学部 | 3,211 | 2,479 | **5,690** | 151 | 17 | **168** | 109 | 3 | **112** | 260 | 20 | **280** |
| 歯学研究院・歯学院・歯学部 | 580 | 500 | **1,080** | 23 | 3 | **26** | 99 | 10 | **109** | 122 | 13 | **135** |
| 工学研究院・工学院・工学部 | 2,607 | 2,704 | **5,311** | 81 | 11 | **92** | 80 | 4 | **84** | 161 | 15 | **176** |
| 獣医学研究院・獣医学院・獣医学部 | 505 | 832 | **1,337** | 12 | 8 | **20** | 23 | 3 | **26** | 35 | 11 | **46** |
| 情報科学研究院・情報科学院 | 416 | 456 | **872** | 47 | 4 | **51** | 7 | 0 | **7** | 54 | 4 | **58** |
| 水産科学研究院・水産科学院・水産学部 | 3,220 | 2,204 | **5,424** | 54 | 4 | **58** | 104 | 11 | **115** | 158 | 15 | **173** |
| 地球環境科学研究院・環境科学院 | 175 | 172 | **347** | 21 | 1 | **22** | 13 | 0 | **13** | 34 | 1 | **35** |
| 理学研究院・理学院・理学部 | 753 | 3,463 | **4,216** | 35 | 13 | **48** | 15 | 48 | **63** | 50 | 61 | **111** |
| 薬学研究院・薬学部 | 164 | 133 | **297** | 6 | 0 | **6** | 23 | 0 | **23** | 29 | 0 | **29** |
| 農学研究院・農学院・農学部 | 5,300 | 3,497 | **8,797** | 136 | 17 | **153** | 150 | 32 | **182** | 286 | 49 | **335** |
| 先端生命科学研究院・生命科学院 | 13 | 10 | **23** | 6 | 0 | **6** | 0 | 0 | **0** | 6 | 0 | **6** |
| 教育学研究院・教育学院・教育学部 | 697 | 102 | **799** | 89 | 6 | **95** | 49 | 2 | **51** | 138 | 8 | **146** |
| メディアコミュニケーション研究院、国際広報メディア・観光学院 | 61 | 32 | **93** | 8 | 0 | **8** | 2 | 0 | **2** | 10 | 0 | **10** |
| 保健科学研究院・保健科学院 | 804 | 131 | **935** | 24 | 0 | **24** | 12 | 0 | **12** | 36 | 0 | **36** |
| 公共政策大学院 | 3 | 0 | **3** | 3 | 0 | **3** | 0 | 0 | **0** | 3 | 0 | **3** |
| 低温科学研究所 | 836 | 949 | **1,785** | 14 | 0 | **14** | 29 | 6 | **35** | 43 | 6 | **49** |
| 電子科学研究所 | 20 | 6 | **26** | 10 | 0 | **10** | 0 | 0 | **0** | 10 | 0 | **10** |
| 遺伝子病制御研究所 | 5 | 19 | **24** | 2 | 0 | **2** | 1 | 0 | **1** | 3 | 0 | **3** |
| 触媒科学研究所 | 86 | 382 | **468** | 12 | 2 | **14** | 3 | 0 | **3** | 15 | 2 | **17** |
| スラブ・ユーラシア研究センター | 274 | 1,895 | **2,169** | 16 | 107 | **123** | 28 | 13 | **41** | 44 | 120 | **164** |
| 情報基盤センター | 12 | 3 | **15** | 3 | 0 | **3** | 0 | 0 | **0** | 3 | 0 | **3** |
| 国際連携機構 | 1 | 1 | **2** | 1 | 0 | **1** | 1 | 0 | **1** | 2 | 0 | **2** |
| 高等教育推進機構 | 82 | 71 | **153** | 6 | 3 | **9** | 2 | 1 | **3** | 8 | 4 | **12** |
| 大学院教育推進機構 | 1 | 0 | **1** | 2 | 0 | **2** | 0 | 0 | **0** | 2 | 0 | **2** |
| 総合博物館 | 862 | 419 | **1,281** | 1 | 0 | **1** | 2 | 1 | **3** | 3 | 1 | **4** |
| 北方生物圏フィールド科学センター | 19 | 66 | **85** | 15 | 2 | **17** | 1 | 0 | **1** | 16 | 2 | **18** |
| 大学文書館 | 308 | 12 | **320** | 61 | 2 | **63** | 24 | 1 | **25** | 85 | 3 | **88** |
| アイヌ・先住民研究センター | 125 | 12 | **137** | 2 | 1 | **3** | 3 | 0 | **3** | 5 | 1 | **6** |
| 人間知・脳・AI研究教育センター | 0 | 1 | **1** | 0 | 1 | **1** | 0 | 0 | **0** | 0 | 1 | **1** |
| 総合イノベーション創発機構 | 4 | 0 | **4** | 1 | 0 | **1** | 1 | 0 | **1** | 2 | 0 | **2** |
| **計** | **47,811** | **36,543** | **84,354** | **1,460** | **457** | **1,917** | **1,930** | **180** | **2,110** | **3,390** | **637** | **4,027** |

## 電子ジャーナル提供タイトル数

| 出版社系パッケージ | タイトル数 | | 計 |
|---|---|---|---|
| | 和 | 洋 | |
| IEEE/IET Electronic Library | 0 | 398 | 398 |
| Oxford Journal Collection | 0 | 368 | 368 |
| ScienceDirect（Elsevier） | 0 | 2,284 | 2,284 |
| Wiley Online Library | 0 | 1,316 | 1,316 |
| その他 | 28 | 2,242 | 2,270 |
| **小計** | **28** | **6,608** | **6,636** |
| アグリゲータ系パッケージ | タイトル数 | | 計 |
| | 和 | 洋 | |
| BioOne Complete | 0 | 219 | 219 |
| EBSCO Academic Search Premier | 0 | 4,704 | 4,704 |
| JSTOR | 0 | 174 | 174 |
| ProQuest | 0 | 9,318 | 9,318 |
| メディカルオンライン | 1,651 | 0 | 1,651 |
| **小計** | **1,651** | **14,415** | **16,066** |
| **合計** | **1,679** | **21,023** | **22,702** |

（R8.3.31 現在）

## 電子書籍提供タイトル数

| プロバイダ | タイトル数 | | 計 |
|---|---|---|---|
| | 和 | 洋 | |
| ACM Digital Library | 0 | 13,879 | 13,879 |
| EBSCOhost | 287 | 1,992 | 2,279 |
| Elsevier | 0 | 1,403 | 1,403 |
| IEEE（IEEE Electronic Library） | 0 | 46,873 | 46,873 |
| NetAdvance（ジャパンナレッジ） | 1,590 | 2 | 1,592 |
| ProQuest | 0 | 1,414 | 1,414 |
| Springer Nature | 0 | 25,300 | 25,300 |
| Wiley | 0 | 1,188 | 1,188 |
| 丸善雄松堂（Maruzen eBook Library） | 7,105 | 1,518 | 8,623 |
| 紀伊國屋書店（KinoDen） | 4,644 | 16 | 4,660 |
| その他 | 1,120 | 1,190 | 2,310 |
| **合計** | **14,746** | **94,775** | **109,521** |

（R8.3.31 現在）

※本年よりIEEE Electronic Library（Conference Proceedings等）も電子書籍としてカウント

## 契約データベース一覧

| |
|---|
| ABSEES（American Bibliography of Slavic & Eastern European Studies） |
| Biological Science Collection |
| CAS SciFinder® |
| CINAHL |
| CNKI：中国学術文献オンラインサービス |
| D1-Law.com 第一法規法情報総合データベース |
| EconLit |
| Lexis+ |
| MarinLit |
| MathSciNet |
| Oxford English Dictionary |
| ProQuest Dissertations & Theses Global |
| Reaxys |
| Sociological Abstracts |
| TAIR（The Arabidopsis Information Resource） |
| Ulrichsweb（Ulrich's Periodicals Directory） |
| Web of Science Core Collection |
| 医中誌 Web |
| ジャパンナレッジ Lib |
| 日経 BP 記事検索サービス |
| 日経テレコン 21 |
| 法科大学院教育研究支援システム（LEX/DB インターネット） |

（R8.3.31 現在）

## 利用統計

### 令和 7 年度利用統計（対象期間：R7.4.1 ～ R8.3.31）

| 区分 | 入館者数 | | | 貸出冊数 | | | 相互協力件数 | | | | 学内 ILL 件数 | | レファレンス件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 学内 | 学外 | 計 | 学生 | その他 | 計 | 複写依頼 | 複写受付 | 貸借依頼 | 貸借受付 | 依頼 | 受付 | |
| 附属図書館（本館） | 255,188 | 18,439 | **273,627** | 90,483 | 27,156 | **117,639** | 2,109 | 1,285 | 663 | 873 | 36 | 44 | 154 |
| 附属図書館（北図書館） | 487,102 | 6,209 | **493,311** | 86,333 | 15,751 | **102,084** | 106 | 12 | 59 | 54 | 17 | 2 | 1,237 |
| 文学研究院・文学部図書室 | 3,577 | 14 | **3,591** | 214 | 53 | **267** | – | – | – | – | – | – | 199 |
| 経済学院・経済学部図書室 | 5,790 | – | **5,790** | 337 | 23 | **360** | – | – | – | – | – | – | 67 |
| 医学研究院・医学院・医学部図書室 | 32,890 | 57 | **32,947** | 4,019 | 679 | **4,698** | 478 | 175 | 5 | 4 | 3 | 36 | 243 |
| 歯学研究院・歯学院・歯学部図書室 | 17,832 | 15 | **17,847** | 2,655 | 984 | **3,639** | 36 | 12 | 1 | 7 | 2 | 2 | 251 |
| 工学研究院図書室 | 64,967 | 123 | **65,090** | 12,110 | 2,139 | **14,249** | 52 | 75 | 12 | 44 | 8 | 9 | 22 |
| 獣医学研究院図書室 | 7,172 | 8 | **7,180** | 709 | 314 | **1,023** | 17 | 18 | 1 | 16 | 4 | 7 | – |
| 水産科学研究院・水産科学院・水産学部図書室 | 26,620 | 72 | **26,692** | 3,092 | 406 | **3,498** | 10 | 79 | 205 | 46 | 6 | 43 | 428 |
| 地球環境科学研究院図書室 | 1,573 | 7 | **1,580** | 226 | 69 | **295** | 11 | 1 | 1 | 5 | 4 | 1 | 13 |
| 理学研究院・理学院・理学部図書室 | 8,203 | – | **8,203** | 5,205 | 1,440 | **6,645** | 104 | 67 | 31 | 25 | 71 | 13 | 69 |
| 薬学研究院・薬学部図書室 | 30,171 | 2 | **30,173** | 1,819 | 60 | **1,879** | 9 | 5 | 0 | 0 | 3 | 4 | 41 |
| 農学研究院図書室 | 33,928 | 47 | **33,975** | 4,213 | 669 | **4,882** | 90 | 93 | 10 | 28 | 15 | 18 | 83 |
| 教育学院・教育学研究院図書室 | 3,076 | – | **3,076** | 502 | 70 | **572** | – | – | – | – | – | – | 37 |
| 保健科学研究院図書室 | 30,803 | 43 | **30,846** | 1,303 | 350 | **1,653** | 287 | 38 | 4 | 7 | 19 | 12 | 30 |
| 低温科学研究所図書室 | 221 | 1 | **222** | 42 | 9 | **51** | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 |
| 北キャンパス図書室 | 2,988 | – | **2,988** | 21 | 58 | **79** | 14 | 5 | 2 | 1 | 7 | 1 | 11 |
| **計** | **1,012,101** | **25,037** | **1,037,138** | **213,283** | **50,230** | **263,513** | **3,327** | **1,867** | **994** | **1,110** | **195** | **195** | **2,889** |

※文学研究院・文学部、経済学院・経済学部、教育学院・教育学研究院は相互協力を附属図書館が担当
※「学内 ILL 件数」は複写のみの数値。札幌キャンパス－函館キャンパス間の現物貸借は「相互協力件数」に含む

### 主要な電子ジャーナルのアクセス件数（対象期間：R7.1.1 ～ R7.12.31）

| 出版社系パッケージ | 件数 |
|---|---|
| ScienceDirect（Elsevier） | 850,340 |
| Wiley Online Library | 325,426 |
| Oxford Journal Collection | 48,657 |
| IEEE/IET Electronic Library | 21,384 |
| その他 | 943,187 |
| **小計** | **2,188,994** |
| **アグリゲータ系パッケージ** | **件数** |
| メディカルオンライン | 39,791 |
| ProQuest | 20,318 |
| JSTOR | 10,055 |
| BioOne Complete | 5,558 |
| EBSCO Academic Search Premier | 4,175 |
| **小計** | **79,897** |
| **合計** | **2,268,891** |

### 主要な電子書籍のアクセス件数（対象期間：R7.4.1 ～ R8.3.31）

| プロバイダ | 件数 |
|---|---|
| NetAdvance（ジャパンナレッジ） | 224,131 |
| 紀伊國屋書店（KinoDen） | 39,372 |
| 丸善雄松堂株式会社（Maruzen eBook Library） | 25,030 |
| IEEE（IEEE Electronic Library） | 22,210 |
| Springer Nature | 5,093 |
| Elsevier | 2,741 |
| ProQuest Ebooks | 1,373 |
| Wiley | 1,068 |
| EBSCOhost | 355 |
| **合計** | **321,373** |

### 図書館 HP 等の利用（対象期間：R7.4.1 ～ R8.3.31）

| 区分 | 学内 | 学外 | 計 |
|---|---|---|---|
| 図書館 HP のアクセス数 | 540,952 | 9,094,697 | **9,635,649** |
| OPAC の検索回数 | 741,829 | 3,187,068 | **3,928,897** |
| HUSCAP ダウンロード件数 | 45,735 | 9,574,851 | **9,620,586** |
| 北方資料データベースアクセス件数 | 184,597 | 8,720,031 | **8,904,628** |
| X（旧 Twitter）フォロワー数（R8.3.31現在） | – | – | **2,639** |

### 主要なデータベースのアクセス件数（上位 15 データベース）（対象期間：R7.4.1 ～ R8.3.31）

| データベース名 | 件数 |
|---|---|
| 日経テレコン 21 | 3,428,500 |
| Web of Science Core Collection | 263,724 |
| ジャパンナレッジ Lib | 235,831 |
| CAS SciFinder® | 151,259 |
| 医中誌 Web | 80,533 |
| MathSciNet | 42,083 |
| MarinLit | 35,306 |
| Reaxys | 19,676 |
| CNKI：中国学術文献オンラインサービス | 14,083 |
| 日経 BP 記事検索サービス | 10,518 |
| TAIR （The Arabidopsis Information Resource） | 9,018 |
| 法科大学院教育研究支援システム（LEX/DB インターネット） | 7,332 |
| CINAHL | 3,457 |
| Oxford English Dictionary | 3,319 |
| Biological Science Collection | 2,324 |
| **合計** | **4,306,963** |

※「Reaxys」は 2025 年 7 月～ 9 月分の統計取得不能

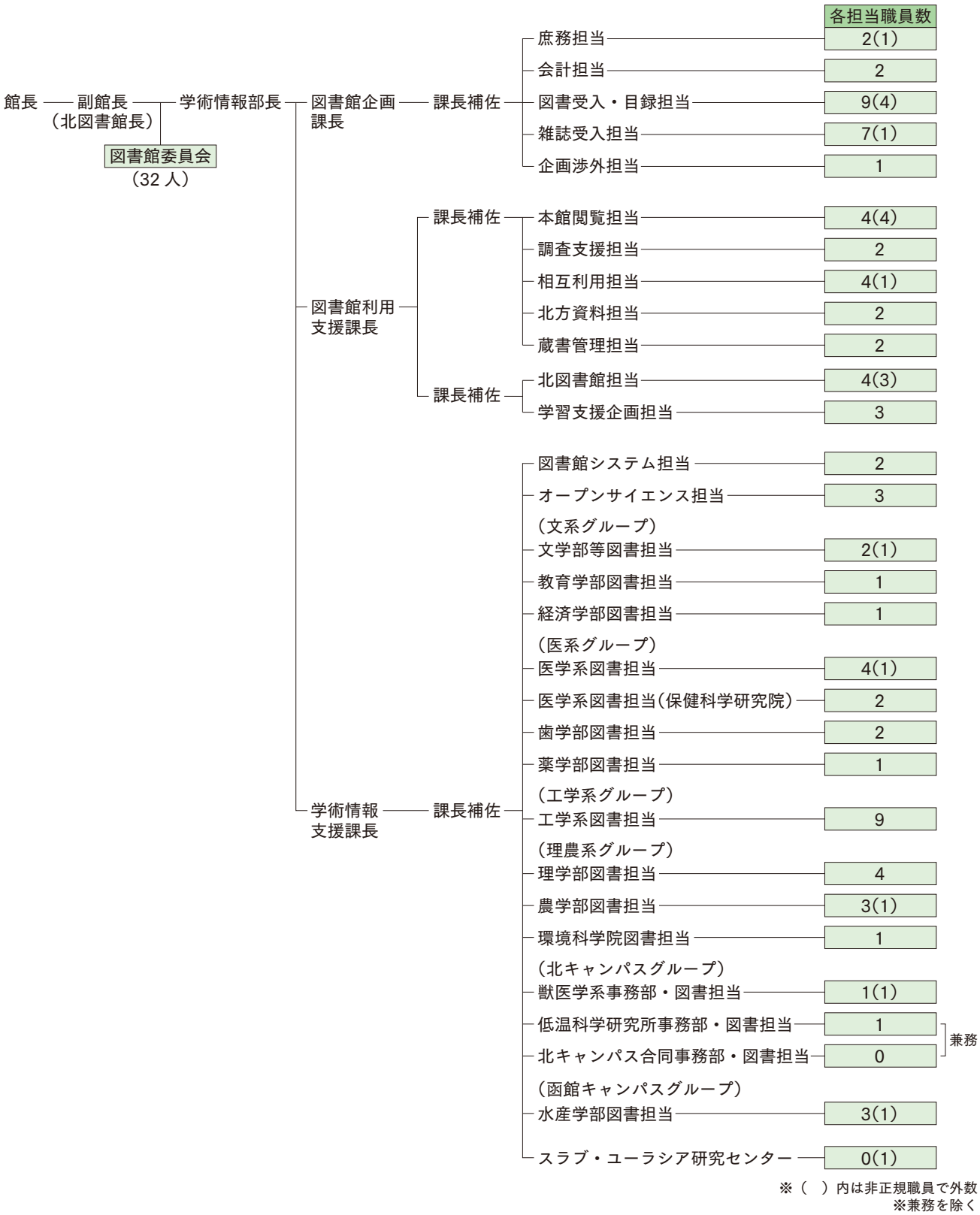
# 図書館委員会名簿

## 令和８年度図書館委員会委員名簿

令和８年４月１日現在

| 所　属 | 職　名 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 副学長 | 館　長 | 山　本　文　彦 |
| 大学院薬学研究院 | 副館長 | 佐　藤　美　洋 |
| 大学院法学研究科 | 教　授 | 村　上　裕　一 |
| 大学院水産科学研究院 | 教　授 | 安　間　洋　樹 |
| 大学院地球環境科学研究院 | 准教授 | 廣　川　　淳 |
| 大学院理学研究院 | 教　授 | 栗　谷　　豪 |
| 大学院薬学研究院 | 准教授 | 大　西　英　博 |
| 大学院農学研究院 | 教　授 | 尾之内　　均 |
| 大学院先端生命科学研究院 | 准教授 | 北　村　　朗 |
| 大学院教育学研究院 | 教　授 | 横　井　敏　郎 |
| 大学院メディア・コミュニケーション研究院 | 教　授 | 鍋　島　孝　子 |
| 大学院保健科学研究院 | 准教授 | 近　藤　祥　子 |
| 大学院工学研究院 | 教　授 | 中　島　一　紀 |
| 大学院経済学研究院 | 准教授 | 満　薗　　勇 |
| 大学院医学研究院 | 教　授 | 青　山　英　史 |
| 大学院歯学研究院 | 准教授 | 吉　村　善　隆 |
| 大学院獣医学研究院 | 准教授 | 中　尾　　亮 |
| 大学院文学研究院 | 教　授 | 松　嶌　明　男 |
| 大学院情報科学研究院 | 准教授 | 筒　井　　弘 |
| 大学院公共政策学連携研究部 | 准教授 | 開　出　雄　介 |
| 低温科学研究所 | 准教授 | 山　﨑　智　也 |
| 電子科学研究所 | 教　授 | 田　中　嘉　人 |
| 遺伝子病制御研究所 | 准教授 | 岡　崎　朋　彦 |
| 触媒科学研究所 | 准教授 | 織　田　　晃 |
| 人獣共通感染症国際共同研究所 | 教　授 | 大　場　靖　子 |
| スラブ・ユーラシア研究センター | 准教授 | 安　達　大　輔 |
| 教育イノベーション機構 | 教　授 | 飯　田　直　弘 |
| 学術情報部 | 部　長 | 久保田　壮　活 |
| 学術情報部図書館企画課 | 課　長 | 福　井　啓　介 |
| 学術情報部図書館利用支援課 | 課　長 | 中　山　昌　也 |
| 学術情報部学術情報支援課 | 課　長 | 中　村　　陽 |
| 学術情報部情報企画課 | 課　長 | 木　村　美　佳 |

# 組織図（令和８年４月１日現在）




※（ ）内は非正規職員で外数
※兼務を除く

| 職名 | 部長 | 課長 | 課長補佐 | 係長 | 係員等 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 計 | 1人 | 3人 | 4人 | 29人 | 53（20）人 | 90（20）人 |

※（ ）内は非正規職員で外数

# 北海道大学附属図書館年報 2026

発行　令和 8 年 11 月
編集　北海道大学附属図書館
〒060-0808　札幌市北区北 8 条西 5 丁目
TEL：011-706-2967　FAX：011-747-2855
Homepage：https://www.lib.hokudai.ac.jp
X（旧Twitter）：https://x.com/Hokudai_Library

Homepage

X（旧 Twitter）